奈良教育大学同窓会会報

まほろば

第３１号

目次

○会長挨拶 …… 2
○学長挨拶 …… 3
○平成29年度会務報告 …… 4
○平成29年度会計報告 …… 5
○平成30年度総会・懇親会の風景
　平成30年度活動方針 …… 6
○役員紹介・支会だより …… 7
○理事による活動委員会の報告 …… 8
○同窓会だより …… 9
○先輩から後輩へ・後輩から先輩へ …… 10
○研修会だより …… 11
○フレッシュマンから同窓会へ
　事務局だより …… 12

「古都の春」　岡田 俊一（S49卒）

私が奈良の風景を意欲的に描きはじめたのは三十代初めであるが、四季の美しさに惹かれて出かけるようになった。

春は桜・牡丹・シャクナゲ、夏は梅雨空・海、秋は紅葉・稲田。冬は雪と冬枯れの色等、現場に足を運んで描く楽しさを味わっている。

作品は、春日奥山のドライブウェイから見た桜である。奈良市内に住む私にとって、桜と奈良市内を見渡せるとても美しく、春の息吹を満喫させてくれるお気に入りの場所である。毎年木々が大きくなり大仏殿が見えにくくなってはいるが、構成して表現している。春の温かさを感じる空気と春光を表現してみた。

同窓会130周年への願い

会長　森　　康　雄

平成30年度がスタートしました。世界情勢が激しく揺れ動いている中で、国内においても耳目を疑いたくなるような出来事が浮かび上がってきています。このような時、奈良教育大学同窓会は、新しい元号への素晴らしい橋渡しができるような活動を推進したいと念願し本年度の出発をしました。会員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

教育大学は、次代を担う心身ともに健やかな子どもを育てる“師”となる人材を育成するための、民主的で人間味あふれるキャンパスであることは申すまでもありません。わが同窓会においては、先輩諸氏が長年にわたって築いてこられた堅実な実績を継承し、更なる創意と工夫を惜しむことなく、物心両面にわたる支援の在り方を探り、会員の輪を広げていきたいと考えています。

例えば、本年度から一部導入されている新学習指導要領の実施に伴う教育現場の受け止め方、また、日々の教育活動の中で遭遇する多様なでき事に対して教職員一人一人はどう対応し対処しているのだろうか。そして、学校を取りまく教育環境は学びの場として十分に整っているのだろうか。多くのことを推察するにつけ、同窓会としての援助活動はどの程度可能なのか自問自答している昨今です。

ここで、現在継続している活動状況の一端を報告し、今後の取り組みへのご支援をお願いしたいと存じます。

◎大学入学と同時に同窓会員となる学生会員制度は２年目を迎えました。同期生としての横のつながりのみならず同窓生としての縦の連携の必要性は、今後の歩みの中で有意義であると確信しています。

◎「まほろば徳・得講座」の開催は、学生のみならず現職教員や一般会員の参加も呼びかけ幅広い講座になっています。経験豊富な講師陣による講座内容は、大学の講座では学べない内容が豊富で、受講者に大変喜ばれています。

◎「ナラノヤエザクラ」は県花であり国指定の天然記念物になっています。奈良県森林技術センター森林資源課長　河合昌孝氏の協力を得て、現在奈良教育大学箕作和彦准教授の研究室において苗木の育成に取り組んでいただいています。順調に生育すれば数年後には県下の小・中学校へ頒布できるようになると思われます。

◎大学構内のクラブハウスの改築については、学生諸君の積年にわたる願いです。その具体化については、大学と同窓会の連携を深めながら実現に向かって努力していきたいと考えています。会員の皆様はもとより各方面でご活躍されている先輩諸氏の温かいご支援を仰ぎながら、母校の教育環境の充実の一助になれば嬉しい限りです。

最後になりますが、同窓会活動が会員の皆様一人一人にとって誇り得るものになることを願い会則の一部を改正しました。理事による活動委員会を活発にしていくうえで、支会活動の働きが重要な意味を持ちます。その意味で支会を支えてくださる支会長を委嘱させていただきました。評議員の皆様においても今まで同様の活動をお願いしたいと存じます。

同窓会130周年への願いは、奈良教育大学の充実につながり、ひいては奈良県教育の進展に貢献できることへの願いなのです。

学び合い、高め合う教育へ

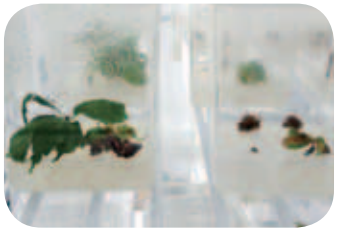
学長　加　藤　久　雄

同窓会の皆さまには、本学の教育活動と研究活動に対しまして、様々なご支援をいただいておりますこと、お礼申しあげます。特に、「諸君の先輩が直接体験したことや実践例を語ります」という主旨で平成29年に７回開催されました「まほろば徳・得講座」は、教員を目指す在学生が諸先輩から多くのことを学ぶ機会となりました。講師をしていただきました先生方をはじめ、同窓会のみなさまに厚くお礼申しあげます。

昨年の平成29年８月に、「国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議」の報告書が出ましたが、教員養成を取り巻く状況は、依然として厳しいものがあります。会議は前年の平成28年８月に設置され、その背景にはその前年の平成27年12月に取りまとめられた中央教育審議会の三つの答申（「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について　～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」）があります。

このような状況の中で、教員については今後も重要な役割が求められるものの、その教員の養成については様々な課題があることが明確に整理され、その課題解決に向けて全学をあげて取り組んでいるところであります。特に、少子化で教員需要が減少する中で、本学にとって教員就職率の向上は急務であります。同窓会と大学がこれらの課題解決にも手を取り合って取り組み、同窓会と本学の発展につなげていきたいと考えております。

「ナラノヤエザクラ」プロジェクト　2018年5月報告



箕作准教授

ナラノヤエザクラは、箕作准教授の手で寒天培養され、技術棟で元気に育っています。

培養土に移され、サクラらしい葉が出て順調に成長を続けている現在の様子。

可憐な花はいつ？

大学構内に咲く「ナラノヤエザクラ」

平成29年度　会務報告

平成29年
4月3日　大学入学式　会長・副会長
　　式典に参列　学部生　271名
　　大学院生　60名
4月5日　会計監査を受ける
4月12日　役員選考委員会
4月17日　第1回本部役員会
4月30日　理事・評議員会　43名出席
　　総会に提案する議案を討議検討
4月22日　大阪興東会
4月30日　天理支会
5月8日　第2回本部役員会
5月13日　第1回まほろば徳・得講座
5月21日　平成29年度総会　55名
　　総会後のアトラクション
　　・混声合唱　楽桜会
　　・楽器演奏　銭本三千宏氏
5月24日　第1回広報委員会
　　会報「まほろば」編集委員会
6月7日　第2回広報委員会
6月10日　第2回まほろば徳・得講座
6月14日　第3回広報委員会
6月20日　第4回広報委員会
6月30日　まほろば第30号発行
7月5日　第2回本部役員会
7月15日　第3回まほろば徳・得講座
7月29日　生駒市支会
8月5日　京都支会
8月19日　第4回まほろば徳・得講座
8月28日　第2回参与会　17名
　　第3回本部役員会
9月29日　中間卒業式　卒業生3名
9月30日　第5回まほろば徳・得講座
　　第4回本部役員会
10月28日　第6回まほろば徳・得講座
　　理事・評議員会　33名
　　支会長会　17名
11月1日　平成30年度入学生入会事務
11月2日
3日　大学祭“輝甍祭”（3日間）
4日
11月11日　第7回まほろば徳・得講座
　　第5回本部役員会
11月12日　大阪興東会退職校長会総会
11月19日　一日見学研修会　大徳寺→京都鉄道博物館→月桂冠　36名
11月29日　大阪市奈良教育大学同窓会
12月2日　奈良支会
12月10日　郡山支会
　　磯城支会
12月11日　平成30年度入学生入会事務
12月13日　第6回本部役員会
12月23日　第2回教育の集い　56名
平成30年
1月6日　大阪興東会新年総会
1月26日　第7回本部役員会
2月14日　平成30年度入学生入会事務
3月7日　第8回本部役員会
3月15日　平成30年度入学生入会事務
3月16日　第9回本部役員会
3月23日　卒業証書・学位記授与式
　　卒業生　340名
　　入会者　64名
　　会費納入者　67名
3月27日　平成30年度入学生入会事務
3月28日　第5回広報役員会

2019年度 同窓会総会のご案内

■と　き　2019年5月19日（日）
午前10時から

■ところ　奈良ホテル

出席希望者は2019年4月末までに、事務局へ（FAXか電話で）お申し込みください。

第5回 楽桜会コンサート

●と　き　平成30年10月21日(日)
午後2時 開演

●ところ　秋篠音楽堂
（奈良ファミリー6階）
（近鉄大和西大寺駅下車北口より徒歩3分）

入場無料

音楽専攻者同窓会「楽桜会」は、卒業後も独り音楽の勉強を続けている会員に発表の場を提供するため「楽桜会コンサート」を隔年に開催しております。
どうぞご来聴いただき、会員を応援していただきますようお願い申し上げます。

平成29年度 奈良教育大学同窓会一般会計決算書（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（歳入の部）　　単位：円

款	項	本年度予算額（A）	本年度収入額（B）	比較増減額（B－A）	備考
会費		4,640,000	5,190,450	550,450	
	1 通常会費	2,000,000	2,766,450	766,450	会員　1158名
	卒業時	200,000	134,000	△ 66,000	卒業生　67名
	入学時	1,680,000	1,636,000	△ 44,000	H29入学時　210名
	2 入会金	200,000	128,000	△ 72,000	卒業生の入会者　64名
	入学時	420,000	416,000	△ 4,000	H29入学時　208名
	3 臨時会費	140,000	110,000	△ 30,000	総会出席者　55名
雑収入	広告代金	0	70,365	70,365	広告代（2社）
繰越金	前年度繰越金	57,817	57,817	0	繰越金
利子	利子	0	4	4	貯金利子
合計		4,697,817	5,318,636	620,819	

（歳出の部）　　単位：円

款	項	本年度予算額（A）	本年度支出額（B）	比較増減額（B－A）	備考
事務費		2,152,800	2,088,115	64,685	
	1 報酬	1,156,800	1,156,800	0	事務局長・事務局員報酬
	2 諸手当	246,000	246,000	0	交通費、諸手当
	3 役員旅費	300,000	274,860	25,140	役員会旅費等
	4 備品費	50,000	45,132	4,868	事務備品等
	5 消耗品費	30,000	27,693	2,307	印刷用紙他
	6 通信費	120,000	116,683	3,317	切手・はがき・電話料金等
	7 貸借料	250,000	220,947	29,053	複合機リース代・コピー代
会議費		350,000	304,430	45,570	
	1 役員会費	50,000	24,860	25,140	役員会、理事会、評議員会等
	2 総会費	300,000	279,570	20,430	総会、懇親会等
事業費		2,180,000	2,648,033	△ 468,033	
	1 会報発行費	1,580,000	1,491,809	88,191	会報「まほろば」30号
	2 新会員歓迎費	100,000	176,230	△ 76,230	入会歓迎会費・卒業記念（筒）等
	3 事業活動費	350,000	350,000	0	親睦研修会、まほろば徳・得講座
	4 組織活動費	100,000	81,600	18,400	支部活性化対策費・還元金
	5 事業補助	50,000	48,394	1,606	同好会活動補助
	5 事業補助		500,000	△ 500,000	事業基金として積み立て
予備費	予備費	15,017	12,000	3,017	
合計		4,697,817	5,052,578	△ 354,761	

差引現在高　5,318,636－5,052,578＝266,058円

特別会計現在高（平成30年３月31日）

1．事業基金	5,670,676円
ゆうちょ（定額）	4,781,000円
南都銀行（定期）	226,134円
ゆうちょ（預金）	308,000円
ゆうちょ（普通）	355,542円
2．学生短期融資基金	
南都銀行（定期）	338,062円
合　計	6,008,738円

監査報告

平成29年度の会計決算を詳細に監査いたしましたところ、諸帳簿等はよく整備され、正確適正に処理されていたことを認めます。

平成３０年４月６日

会計監査　野阪雅美

会計監査　倉本政太郎

平成30年度　奈良教育大学同窓会総会・懇親会の風景

奈良ホテルで行われました本年度の総会には、ご来賓の皆様はじめ多くの会員が出席のもと盛大に開催されました。同窓会創立130周年を迎える２年後に向けて、会員相互の強い絆が確認されたひとときでした。会場の雰囲気を観取してください。

会長挨拶（森康雄氏）

議案の審議（北良夫氏）

新役員選出（選考委員長：井上三夫氏）

事業説明（久保三左男氏、向出惠宥氏）

楽桜会混声合唱団のコーラス（指揮：佐竹司郎氏）

リコーダ演奏（銭本三千宏氏）

懇親会乾杯（宮前清和氏）

和やかな歓談

万歳三唱（長田光男氏）

お礼の言葉（中川克己副会長）

平成30年度　活動方針

国立大学法人奈良教育大学の同窓会は、会員相互の親睦を図り教育ならびに社会の進展に寄与することを目的とする。また、大学の運営方針に添って協力し、更なる発展をめざす。

理　　念　◯ 会員相互のふれあいを大切にし、親睦を深める。
◯ 学び合い、語り合う場を設定し、互いに教養を高める。

基本方針　同窓会活動の充実発展を骨子とし、参加勧誘を働きかけ、会の運営・維持に努力することを基本とする。

重点目標　1．同窓会員として豊かな人格をめざし、会の運営・充実のため年会費の増額・増収に努める。
2．各事業委員会活動の強化と、支会活動の活性化をめざす。
3．同窓会創立130周年事業成功に向け、大学の発展と同窓会としての目標達成に、支援し協力し合う。（同窓会創立130周年 ― 2020年）

平成30年度　奈良教育大学同窓会役員紹介(敬称略)

理事	会　長	森　康雄(S28)
	副会長	中川克己(S28)・吉田貴子(S35)・橋本　清(S35) 松原さおり(S39)・向出惠宥(S39)・久保三左男(S41)
	会　計	小林邦子(S47)・森本玉枝(S48)
	監　事	野阪雅美(S35)・倉本政太郎(S38)
	名誉理事	井上三夫(S23)・山根　奨(S24) 松村惠司(S28)・北　良夫(S30)
	特命理事	吉田　誠(S50)
	理事	中村利典(S37)・松浦陽子(S38)・岩橋恭子(S41) 小谷勝彦(S42)・井村崇暢(S44)・武村恵美(S47) 金治延幸(S47)・向出佳司(S48)・山田　昇(S50) 中村倫子(S52)・滝川満夫(S54)・銭本三千宏(S55) 中澤新治(S55)・豊田弘司(S56)・谷口尚之(S57) 深田展功(S58)・西岡由郎(S58)・山崎淳美(H1)

顧問	柳澤保徳(元学長)・長友恒人(前学長) 加藤久雄(学　長)・長田光男(元会長) 西田史郎(元会長)・中谷　要(前会長)
参与	宮前清和(S20)・大倉基宥(S23)・森杉美代子(S24) 本田克己(S32)・福井義博(S33)・竹中良行(S33) 宮本博覬(S34)・今西政弘(S35)・宿本　啓(S36) 服部　明(S37)・中尾勝一(S37)・藤井フミ子(S38) 松本守正(S38)・境山正甫(S39)・木村隆吉(S40) 後藤田和子(S41)・井本英典(S41)・浦野　和(S41) 門田悦子(S41)・岡島久子(S42)・赤堀剛彦(S43) 大橋　勉(S43)・深井一憲(S43)・石増次郎(S44) 岸田泰三(S45)・中室清文(S45)・平井利子(S45) 中村幸成(S47)・澤田晴夫(S48)・恒岡宗司(S49) 大橋輝雄(S51)

支　会　長　・　評　議　員(敬称略)

奈良支会	支会長	川井義信(S57)
	評議員	西田美智子(S41)・塚本眞人(S42) 阪東俊行(S51)・奥村浩一(S56) 岩永康生(S58)・八木英治(S58)
天理支会	支会長	竹中良行(S33)
	評議員	阪部　保(S48)・喜多健一(S52)
郡山支会	支会長	中谷　要(S27)
	評議員	三村精一(S37)・楠　隆彦(S44) 熨斗慎司(S60)
山辺支会	支会長	上浦一道(S38)
	評議員	今本泰啓(S39)
生駒市支会	支会長	松村惠司(S28)
	評議員	出原威佐夫(S44)・上西　均(S55)
生駒郡支会	支会長	宮前清和(S20)
	評議員	岡田泰治(S37)・稲浦　聡(S59)
桜井支会	支会長	向出惠宥(S39)
	評議員	上田全計(S47)・浦前正巳(S45)
磯城郡支会	支会長	堀内義雄(S29)
	評議員	松村宙亨(S43)・上村謙至(S60)
宇陀支会	支会長	田中三彦(S53)(評議員兼任)
	評議員	城井　賦(S30)・向井　清(S51)
橿原支会	支会長	山本秀樹(S42)
	評議員	原田須賀子(S42)・中島浩一(S62)
高市支会	支会長	脇本雅子(S36)(評議員兼任)
高田支会	支会長	辰巳恵子(S37)(評議員兼任)
	評議員	平上昭彦(S58)

北葛城支会	支会長	増田辰夫(S50)(評議員兼任)
	評議員	森岡義博(S50)
香芝支会	支会長	竹林貞裕(S48)(評議員兼任)
	評議員	荻原雄一(S49)
葛城支会	支会長	尾上清隆(S41)(評議員兼任)
御所支会	支会長	野阪雅美(S35)(評議員兼任)
五條支会	支会長	礒田廣人(S42)(評議員兼任)
	評議員	栗山　浩(S52)・蓮尾雅人(H2)
内吉野支会	支会長	久保　隆(S37)(評議員兼任)
吉野支会	支会長	小原康子(S43)(評議員兼任)
	評議員	森嶌敏彦(S52)
高校支会	支会長	井上惠充(S60)(評議員兼任)
	評議員	石澤竜義(S62)
大学支会	支会長	豊田弘司(S56)
	評議員	金原正明(S54)
大阪支会	支会長	中澤新治(S55)
	評議員	船留昌代(S57)・石川昌司(S58)
東大阪支会	支会長	田畑真人(S56)
	評議員	松川登志子(S35)・植田　勝(S57)
八尾支会	支会長	浦上弘明(S51)
	評議員	加藤賢一(S61)
京都支会	支会長	久保三左男(S41)
	評議員	井戸野仁司(S45)・濱　喜代巳(S56)
三重支会	支会長	布村　進(S40)(評議員兼任)
	評議員	東　　博(S42)・柏本一三(S51)

支会だより

三重支会創設に向けて

三重支会 **布村　　進**(S40)

三重県に改めて三重支会の創設を依頼されました。三重県在住の同窓会会員412名の内、名張市在住の会員が100名近くと一番多く、次いで伊賀市と判明。まずは名張市から立ち上げようと私は会員の消息確認を開始しました。伊賀市は同窓生の山本操さんに無理矢理お願いし、消息確認をお願いしています。

私が消息確認の電話をおかけする中で、既にご逝去された方、施設入居されておられる方、消息不明の方等が徐々に判明してきました。

そうこうしている中で、私の意図を汲み、協力を申し出て下さる方が数人出てきました。

お蔭様で、遅ればせながら、5月27日に三重支会名張支部設立準備会を開催することが出来ました。会員相互の親睦を目的とした同窓会となれるよう、粘り強く取り組んでいこうと思っています。この輪が三重県各地に広がればと考えています。

理事による活動委員会の報告

◎**総務委員会**（委員長：中川副会長）
本部活動の財務を担い、各種事業を統括する。
・同窓会会則の改正
第５条の３
会計１名（事務局長）➡ 会計２名
第７条の３
会計は、本会の会計を統括し、事務局長がその事務の任にあたる。➡ 会計は本会の会計を統括する。
第８条
役員の任期は、毎年4月1日から3月31日までの1年間とし、再選を妨げない。➡ 役員の任期は2年とし、再選を妨げない。

◎**組織委員会**（委員長：向出副会長）
「まほろば徳・得講座」の企画・運営（下記参照）
・「まほろば徳・得講座」の企画・案内。
・参与会議・支会長会議を企画・運営する。

◎**広報委員会**（委員長：橋本副会長）
広報「まほろば」の編集・発行をする。
・本年度は第31号を6月30日に発行いたします。

◎**研修委員会**（委員長：吉田副会長）
公開文化講演会・1日見学研修会の企画運営をする。
・本年度は、公開文化講演会を11月17日㈯に開催します。（P10参照）

◎**キャンパス美化委員会**（委員長：松原副会長）
大学内の環境や美化に協力する。
・「ナラノヤエザクラ」プロジェクトについては3ページをご覧ください。

◎**庶務委員会**（委員長：久保副会長）
同窓会活動の庶務全般を分掌する。会員名簿の管理をする。

2018年度【教員をめざす特設講座】【主催：同窓会本部】

まほろば　徳（とく）・得（とく）講座

～あいつぐ教育改革・特集講座～

第1講　5月12日㈯
教職の道に想う。
今、学校の先生に求められているものは…？
講師：奈良県退職校園長会
会長
中川 克己先生

第2講　6月16日㈯
道徳の教科化を考える。
今までの道徳の授業と何がどう変わる？
講師：大阪市立片江小学校長
中澤　新治先生

第3講　7月14日㈯
小学校に英語科が導入されます!?
今、実践途上の外国語活動とどう違う？いつから？
中学校英語との関連は？
講師：元姫路大学特任教授
小林　邦子先生

※第3講の会場は、本大学内の「次世代教員養成センター」です。

第4講　10月20日㈯
いじめ問題が法制化されて早や5年!いじめ対策からいじめ防止へ…。
今、教育現場の現状と課題は？
講師：大阪市立中津小学校長
船留　昌代先生

第5講　12月1日㈯
障がい児教育「改革元年」から11年! 特別支援教育の今…。
何がどう変わり、学校教育現場の今日的課題は？
講師：前 奈良県立盲・ろう学校長
上村　勇一郎先生

※毎講：10:00～12:00
※会場：山田ホール
※受講料無料
※筆記用具持参
※資料は当日配布

☆本学卒業生の大先輩が豊かな教育実践に基づき様々な実践事例を楽しく語ります。
☆今日的な教育課題を興味深く学んでいただけます。
☆教員をめざす皆さんにとって、必須不可欠な内容です。
☆大学の授業とは一味ちがう、またとない時空間です。

同窓会だより

西から東から20名の仲間が…

坊垣内　昭典（S35入学同期会）

平成29年11月18日㈯、橿原ロイヤルホテルにて昭和39年卒の同期生の集いを開催しました。

台風の影響で急遽開催日を変更したにもかかわらず、西から東から20名の仲間が元気な顔を合わせてくれました。

和気藹々な中で始まった集いは、本部事務局の向出惠宥氏より同窓会活動の今日的動向や、まもなく創立130周年を迎える課題について理解と協力を求める話があった後、お互いの近況を語りあい、一人ひとりの悲喜こもごもの話に耳を傾けるひとときをもちました。自らの体調を感慨をこめて吐露しあうこの時空間は、さながら健康確認会の様相そのものとなりました。

お互いの年齢も勘案して、これからも毎年開催を確認し、再会を誓いあいながら散会しました。

後日談ですが、なんでも次期幹事の話を仄聞するところでは平成30年の同期会は10月21日㈰に開催されるそうです。

キャンパスの風景が劇的に一変している奈良教育大学に集合し半世紀超の歴史の流れを実感した後、ホテルリガーレ春日野（旧春日野荘）へ移動し、旧交を温めあうスケジュールで段取りを考えてくれているようです。皆様とのまたの再会を私も楽しみにしています。

十数年ぶりの同期会

池田　英二（S49入学同期会）

8月19日土曜日、JR奈良駅前のホテル日航奈良で1974年（昭和49年）小学校課程入学者の同窓会を開催しました。

今までに奈良の猿沢荘、旅館の大仏館と実施し、今回は十数年ぶりの３回目の開催となりました。参加人数は41名、当時の入学者数が130名前後だったと思われますので、３割ほどの出席率でした。記念写真やあいさつの後、それぞれ一言ずつ近況報告がありました。還暦を迎えてもそのまま学校に関わる仕事をしている人や、教職とは無縁の仕事をしている人、何もしてなくて充電中の人など、話はなかなか尽きませんでした。

久しぶりの再会で、昔の面影を多く残す方、すっかり見違えてしまった方、人それぞれ年輪を重ねられていました。２時間半と限られた時間があっという間に過ぎ、次回、３年後か５年後に開催すると決定してお開きとなりました。

『現職教員を対象とした公開講座@奈良県五條市』を開催します！

奈良教育大学地域・教育連携室では、平成30年12月25日㈫、26日㈬に奈良県五條市にて、現職教員を対象とした公開講座を開催します。

本講座は、本学教員が各教科の授業づくりに役立つ最新情報を提供し、現場の先生方が困ったときに気軽に相談できるような関係づくりを目的としています。

今年度は、五條市教育委員会の協力を得て、奈良県南部での開催となります。普段、本学で開催する公開講座に参加しにくい県南部の先生方や、近隣府県の先生方も奮ってご参加下さい。

講座内容・申し込み方法　ならやまオープンセミナー　検索

本学ホームページに随時情報を掲載します。

お問い合わせ　奈良教育大学企画連携課　☎0742-27-9108

先輩から後輩へ

夢を追った学生時代

上野　博美（S37卒）

昭和33年（1958）４月奈良学芸大学（現奈良教育大学）に入学。当時は現在の奈良県庁辺りにキャンパスがあり、９月まで過ごし後期10月から高畑に移りました。入学したのは、学芸学部二部（中学課程）体育科でした。同期生は、高等学校時代素晴らしい活躍をされた人ばかりでした。入学後は、友との語らい、勉学、部活動等に専念する毎日でした。勉学は当たり前で単位も確実に取得し、部活動（バレーボール部）にも熱中し良い成績を残すことができました。よき先輩の指導と助言のお陰であったと今思い返しています。

しかし、学年が進むに従い学生生活に変化が生じ、楽しみより苦難のほうが増し、悩むことが多くなりました。勉学と部活動との両立です。

当時バレーボール部は、関西学連リーグ二部に所属し、近畿国公立大学選手権（一部の私学も参加）や近畿学芸大学選手権等では常勝でした。二部で優勝し、一部との入れ替え戦に出場しても壁は厚かったです。何とかその壁を打破すべく、５週間の教育実習中も休むことなく毎日厳しい練習を必死に続けました。

苦しい練習が実り、厚い壁を突破し、本学史上初の一部昇格を果たしました。この成績を維持するため以前より緻密で重厚な練習に励みましたが思い通りにはいかず二部に降格してしまいました。しかし、後輩たちの頑張りにより再び一部に昇格、全日本大学選手権では関東の大学にも勝利し、上位に食い込む素晴らしい成績を残されたこともありました。紆余曲折はありましたが、がむしゃらに邁進していた当時が懐かしく思います。

学生時代は、立派な師・良き先輩・友・後輩に恵まれ素晴らしい大学生活を送ることができました。教員生活での苦難、悩み等に直面しても学生時代の経験が生かされ乗り越えることができました。元気で楽しく送れる日々に感謝しています。

後輩から先輩へ

チームスポーツの意義を学ぶ

バレー部キャプテン
社会科4回生 藤井　優那

こんにちは。女子バレーボール部です。わたし達は４回生５人、３回生５人、２回生５人、１回生５人の計20人で活動しています。春と秋にあるリーグ戦をはじめ、全教、近国など数多くの大会の中で１戦でも多く勝利をおさめられるよう、日々練習に励んでいます。

私達は、「一人一人が考えて動く」ことを大切にしています。練習では、技術向上の為にはもちろん、バレーボールというチームスポーツの中で自分はどう動くべきか、自分の役割とは何なのかを周りを見ながら考え、行動できるようにしています。また、学年の枠を越えて話し合うこと、コミュニケーションを取ることも大事にしています。お互いがお互いを高め合いながら活動できる、最高の部活です。

今後も、先輩方がこれまで築き上げてくださった女子バレーボール部のカラーを、そして絆を、しっかりと繋げていけるように活動していきます。先輩方、今後もご声援のほど、よろしくお願いいたします。

公開文化講演会のご案内

万葉をテーマにした新しいタイプのミュージアム「万葉文化館」の館長をお迎えし、講演会を開催します。一般の方々もお誘いのうえ、多数のご参加をお待ちしています。

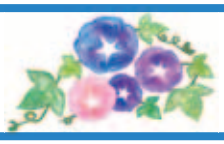
日時▶平成30年11月17日㈯　午後1:30～3:00
会場▶奈良教育大学 学生会館内 山田ホール
演題▶「万葉集を楽しもう」　～おとなになった皆様へ～
講師▶奈良県立万葉文化館 館長 稲村 和子氏

問い合わせ先
奈良教育大学
同窓会事務局
Tel　0742-21-6101
Fax　0742-21-6102

◎講師プロフィール
昭和29年大阪府生まれ。昭和52年武庫川女子大学卒業。奈良県に農業技術吏員として入庁。農業専門技術員として農村の活性化に取り組む。平成18年奈良県立橿原考古学研究所副所長。平成25年より奈良県立万葉文化館館長。

原稿募集

●会報32号の原稿を募集します。
●500字程度で、顔写真等もお願いします。
●送付先：同窓会事務局広報委員会 宛



研修会だより

第15回 一日親睦研修会に参加して

浅野　順子（S36）

卒業後間もなく、大先輩である母（奈良女子師範学校卒業）の勧めで、奈良学芸大学同窓会総会に一度だけ出席しました。山田ホールでかなりのご年配の先生方のお話に耳を傾けたことを覚えています。半世紀以上を経て今回の親睦会に参加させていただきました。

今回のメインは京都北区紫野の大徳寺です。大徳寺大仙院の尾関宗園師もまた私たちの大先輩であることを知りびっくり。国宝である壮大な堂塔伽藍では数々の重要文化財や枯山水の庭園などを見学。曽ては千利休や小堀遠州らが庵を結んだとのことです。

楽しみは泉仙（大慈院店）での鉄鉢料理です。お坊さんが依り出されたというこの精進料理は誠に色鮮やかで味良く、質素な感じは全くしません。大変美味しいと、皆さん完食!!身も心も元気になりました。家でもこんな料理が出来たらうれしいなぁと思いました。（どなたか教えて下さい。）

京都鉄道博物館では、鉄道の歴史や珍しい車両などを見学。遠い昔の夜汽車の旅を懐かしく思い出していました。興味のお有りの方は一日中楽しめるところです。

最後は月桂冠大倉記念館です。190年前創業という伏見の酒蔵でその歴史をお聞きし、皆さん利き酒などを楽しみ、呑めない私も「さっぱりしてますね」などと呑める顔をして満足。皆さんほろ酔い機嫌でバスに揺られて帰途につきました。

大変有意義な一日でした。

一日親睦研修会に参加して

川端　夕貴（H29修）

昨年の11月、他の大学院生２名とともに同窓会主催の一日研修会に参加させていただきました。この研修会では、京都市内の大徳寺大仙院・京都鉄道博物館・月桂冠大倉記念館などを見学しました。

大徳寺大仙院では色鮮やかな紅葉を楽しみながら、庭園や本堂などを見学し、本学を卒業されたご住職の話を聞かせていただきました。本堂での拝観後、同じ敷地内で昼食に精進料理をいただきましたが、この料理は食材を余すところなく使い、調味料の使用を抑えたという説明がありました。また、料理は僧が托鉢に用いる鉄製の丸い鉢に盛られており、伝統を体験しながら精進料理を堪能することができました。

京都鉄道博物館では、新幹線や電車の車両と共に、蒸気機関車や駅の看板、切符なども展示されていて、電車や鉄道のことを詳しく知らなくても、来館していた多くの子ども達と同様に楽しむことができました。

月桂冠大倉記念館では、日本酒を造る過程の説明の後、資料館で多くの展示品を見せていただいたことで、身近な日本酒でありながら、知らないことが多かったことに気づかされました。

今回の研修会では、古くから受け継がれてきた伝統とそれに込められた思いや、社会の変化に応じて姿を変えてきたものを間近に見ることで、時代の変化を感じることができました。また、大学では接する機会がほとんどない同窓会の先輩の先生方から、今後の教員生活に生かすことができるお話しを伺うこともでき、大変有意義な一日を過ごすことができました。

会報「まほろば」配送経費軽減のためご了承下さい

会報「まほろば」の送付にあたり、広告手数料による配送経費軽減の観点から三井住友トラストVISAゴールドカードと原田司法書士事務所のパンフレットを同封しておりますので、ご理解とご協力をお願い致します。

VISAゴールドカードの年会費は通常1万円ですが、同窓会との団体契約のため、年会費が2,500円となり格安です。（毎月送付される冊子は送られません。）

まほろばの発送は、これまでと同じ業者に依頼し、会員の皆様の個人情報はこれまでと同じように保護されています。

“フレッシュマン”から同窓会へ　奈良の地で ― 学び 創造、学び 発信。

佐藤　絢香
（奈良教育大学学生自治会）

奈良教育大学学生自治会は「より良い学生生活を」をスローガンに日々活動しております。

近年の活動では、部費・サークル費財源に関わる制度の見直しや、大学と交渉し自動販売機の増設を実現することができました。

私たちの役割は「大学と学生たちとの間のパイプとなって、意見の橋渡しをすること」です。しかし、残念ながら私たちの活動は知名度が低く、学生たちからも教職員の方々からも意見が集まりづらい状況が続いております。

この現状を踏まえ、今年度の学生自治会では、学生たちへの働きかけの強化と広報活動の活発化を方針として掲げております。

この方針に基づいて、学生大会やサークルオリエンテーションなど、全学生に向けて広く活動するコンテンツを通して学生たちとの接触を増やしたり、メールや学内掲示板を用いて他団体との交流を開示していくことを通して開かれたイメージを広めたりしていきたいと考えています。

同窓会の皆様とも、昨年度よりクラブハウスの改修についての話し合いやアンケートを共同して実施させていただきました。今年度もこのつながりをさらに強めつつ、学生たちの生の声をOB・OGの先輩方にお届けすることが出来ればと考えております。

キャンパスだより

入学生はどの府県から？（H29年度）

（卒業高校所在地で調査）

1	大阪府	82名	6	徳島県	5名
2	奈良県	80名	7	岡山県	4名
3	兵庫県	28名	7	和歌山県	4名
4	京都府	16名	7	島根県	4名
5	愛知県	8名			

卒業生の進路は？（H28年度卒業生）

＊資料：2017年大学概要

教員	幼稚園	3名	企業	46名
	小学校	76名	大学院などへの進学	30名
	中学校	25名		
	高等学校	11名		
	特別支援学校	8名		
	期限付採用	68名		
	公務員	14名		

事務局だより

◎平成30年4月、新入生会員を迎えることが出来ました。在校生と卒業生が手を取り合って、母校の発展と同窓生の絆を深めるような活動を展開していきます。

◎まほろば31号は、全会員に向けて発送しています。住所変更等がありましたら事務局までご連絡下さい。

◎同窓会は皆様の会費で活動しています。会費の納入にご協力下さい。

◎事務局に直通電話を設置しています。
TEL 0742-21-6101　FAX 0742-21-6102

◎個人情報の保護には、万全を期しています。

■平成30年度　広報委員会委員（50音順）
北　良夫・中村　利典・橋本　清
松原さおり・山崎　淳美

編集後記

◎バンビ誕生のニュースが流れると、広大な奈良公園を悠々と散歩する親子鹿に、遠慮しながら歩む観光客のほほえましい姿が思い浮かびます。

◎奈良教育大学のキャンパスにおいても、奈良公園の鹿と共生しながら豊かな学生生活を送る多くの学生が、それぞれの夢に向かって勉学に励んでいます。

◎古都奈良の大学において“学び創造、学び発信”ができるフレッシュマンの願いが現実となり、明るく輝かしい未来に光を当てていただきたいものです。

◎人間性豊かな社会人の育成を目指す教育の原点に立ち返り、素晴らしい教育環境を維持し、大学の更なる進展に寄与する同窓会の存在は大きいものがあります。学生会員を含め、卒業した先輩会員の皆様の力強いご支援をお願いいたします。

奈良教育大学同窓会会報「まほろば」　第31号　発行：平成30年6月30日
発　行　所　奈良教育大学同窓会事務局　〒630-8301 奈良市高畑町　奈良教育大学内
☎0742-21-6101 Fax0742-21-6102　郵便振替番号00900-2-9400
編集・発行　奈良教育大学同窓会
印　刷　所　関西印刷株式会社　奈良市南半田中町19･20番地　　−題 字　故 川淵勝男元会長−